

公立高校入試情報 京都府

【数学】

令和7年度京都府入試の全体傾向

- 大問数は6問、小問数は20問でほぼ例年どおり。
- 大問1は各領域の小問集合、大問2は1次関数の利用(グラフもかく)、大問3は確率、大問4は三平方の定理と空間図形、大問5は三平方の定理と相似、大問6は規則性(図形)の問題が出題された。
- 大問6の規則性の問題は、三角形のタイルを正方形にしきつめていく問題。正方形を2本の対角線で、4つに分けて考えるのがポイント。
- 証明問題など記述式の問題は出題されない。問題構成に例年大きな変化はないので、過去問に取り組みしっかり慣れておきたい。

■ 関数の利用の問題の出題

・関数で表される関係について、グラフを使って考えたり、関数の式を利用して解く問題がよく出題されている。

■ 規則性を発見する問題の出題

・数や図形の規則性に関する問題がよく出題されている。数多く問題にあたって、慣れておく必要がある。

★京都府入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●	●		●
		方程式	●			
		比例と反比例		●		
		平面図形			●	●
		空間図形	●	●	●	●
		データの分析と活用			●	
	2年内容	式の計算		●	●	●
		連立方程式	●	●		●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●	●		
		三角形	●			●
		平行四辺形		●		
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図		●	●	●
	3年内容	式の計算	●	●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●		
		三平方の定理	●	●	●	●
		標本調査	●			
出題形式別の傾向	大問数		6	6	6	6
	小問数		20	20	23	20
	記述問題	図形の証明(説明)				
		その他の説明・証明など				
		立式・解法の過程の記述				
		作図(図形)			1	
		作図(グラフ)	1	1		1